

天皇陛下、退位に思い



象徴としての務めについてのお気持ちを表明される天皇陛下＝7日、皇居・御所応接室（宮内庁提供）

ビデオで国民にメッセージ

天皇陛下は8日午後3時、象徴としての務めについてのお気持ちをビデオメッセージで表明し、生前退位の実現に強い思いを示された。82歳となり、次第に進む体の衰えを考慮し「全身全霊をもって象徴の務めを果たしていくことが難しくなるのではないかと案じています」と語り、国民に理解を求めた。

公務の重要性を強調し「象徴天皇の務めが安定的に続いていくことをひとえに念じる」とした。

実現には、皇室典範の改正などが必要となる。政府は既に水面下で検討を進めており、法整備に向けた議論が本格的に始まる見通しだ。

憲法上、天皇は国政に関する権能がないため、陛下は「現行の皇室制度に具体的に触れることは控える。個人としての考えを話す」とした。

大分合同新聞

創刊1886年(明治19年)
大分合同新聞社
〒870-8605 大分市府内町3-9-15
©大分合同新聞社2016
ニュースのご通報などは
大分 ☎097-536-2121
FAX 097-538-9674
別府 ☎0977-22-2121
FAX 0977-25-1230

朝夕刊 完全連続紙
単独販売の朝刊、夕刊、
統合版はありません。

号外

詳しくは本紙で

Gate
ゲート

購読お申し込みは
フリーダイヤル ☎0120-510-374
または、お近くのプレスセンター(販売店)